



§6 コミッショナーの活動と評価

11月10日 09時00分～18時00分 (540分間) 担当者 中村 忍

◎目 標

参加者は、このセッション終了時に次のことが達成できる。

1. 団運営に対する支援ができる。
2. 隊運営に対する支援ができる。
3. 日常業務を進める上で必要なコミッショナー間の連携ができる。
4. 日常業務を進める上で必要な組織との連携ができる。
5. 各種コミッショナーの活動計画の立案と評価ができる。

◎指導上のねらい

1. 現実に近い形で演習を行うことにより、コミッショナー相互の協力体制、組織との連携が必要であることを理解させる。
2. 隊、団への支援策にはさまざまな形態や手法があり、コミッショナーはそれらを効果的に活用し隊、団への支援を行うことを理解させる。
3. コミッショナーの活動は隊、団の現状を把握することから始まることを理解させる。
4. 隊、団への支援において、指導者の確保、養成に関わることが多くかつ重要であることを理解させる。
5. 定型訓練の訓練目標や内容を理解し、訓練・研修のニーズが満たされるかどうか判断できなければならないことを理解させる。
6. 活動計画の立案に当たっては、コミッショナーグループ内での計画内容の評価が重要であり、相互評価ができるようにする。

◎スタッフの仕事（依頼事項）

1. チューターは、グループ作業、意見交換等の場においてグループによる相乗効果が生まれるよう適宜、アドバイスといった支援をお願いします。

◎準備品

1. ハンドアウト『情報収集のための各資料の作成方法等（参考）』（P.29参照）
2. ワークシート①『問題点の抽出』（P.31参照）
3. ワークシート②『原因と思われる事項と解決への糸口』（P.31参照）
4. ワークシート③『解決策の策定その1』（P.32参照）
5. ワークシート④『解決策の策定その2』（P.32参照）
6. イントレイ・エクササイズ資料1（武庫川地区）*本資料の事前配付は不可
7. 模造紙 各グループ×3枚用意（18枚～20枚用意）
8. 所員用資料『グループ作業の進め方』

セッションの展開 (導入/展開/まとめの具体的な設計、進行計画)

1. 導入 (5分 09:00~09:05)

セッション概要の確認

*本セッションは、主としてイントレイ・エクササイズを用い次の点について学習する。

- ・団運営、隊運営に対する支援について
- ・日常業務を進める上で必要なコミッショナー間の連携について
- ・各種コミッショナーの活動計画の立案と評価について

2. 展開 (520分 9:05~17:45) (目標1~5)

Step.1 (5分 09:05~09:10)

1. このセッションの作業はイントレイ・エクササイズの手法を用いる。
2. イントレイ・エクササイズとは「研修者は、いくつかの手紙、メッセージ機関紙、未決書類などが入れているトレイ（お盆の意味）を見せられ、自分の任務を分析し、それをどの様に実行するかを決定する。」手法です。
3. 発表については模造紙を用いて、「問題点抽出⇒原因追求⇒解決策策定」の流れがわかるように掲示をする。
4. 作業は別紙「グループ作業の進め方」通りとする。

Step.2 (485分 9:10~17:15)

この後の進め方は「グループ作業の進め方」を参照

Step.3 (30分 17:15~17:45)

Gr 発表

Gr で選んだ解決策の発表 (各グループ5分目安)

3. まとめとふりかえり (15分 17:45~18:00)

1. セッション担当者が、Gr 作業の発表を基に講評をおこなう。
2. 所長が、これまでのセッション全体を振り返って講評をおこなう。
3. 参加者はふりかえりを記入

以上です、皆様のご協力をお願いします。

情報収集のための各資料の作成方法等（参考）

1. 指導者台帳

(1) 作成方法

- ①地区コミッショナーが中心となって、登録審査時の資料を台帳に整理した。
 - ②不足する情報は地区正副コミッショナーが団訪問や各団の登録担当者、隊長等に問い合わせた。
- ※当地区は3個団で編成されているため、地区コミッショナーが団担当コミッショナーを兼務している。団担当コミッショナーが別途任命されている場合は、この業務は団担当コミッショナーが行う。

(2) 情報源

- ①登録審査資料
- ②登録申請書
- ③団名簿
- ④団（育成会）総会資料
- ⑤団訪問時の情報
- ⑥個人への問合せ
- ⑦他

2. 地区の概要

(1) 作成方法

- ①地区内の各種活動記録を整理
- ②県連からの各種連絡事項を整理
- ③県連総会資料を整理
- ④登録審査資料、登録申請書、団名簿等を整理
- ⑤聞き取り調査（団訪問、隊訪問、個人へ問合せ等）

(2) 情報源

- ①登録審査資料
- ②登録申請書
- ③団名簿
- ④団（育成会）総会資料
- ⑤団訪問時の情報
- ⑥個人への問合せ
- ⑦他

3. その他の情報

- (1) 作成方法 地区正副コミッショナーのメモや記憶を地区コミッショナー会議で整理

(2) 情報源

- ①団訪問時の情報
- ②地域活動での情報
- ③個別相談等の情報
- ④その他

§ 6 団の現状把握のための資料（その1）

武庫川地区の概要（当年4月1日）

※地区総登録数 団委員 123人、指導者 190人、BVS 56人、
CS 130人、BS 100人、VS 44人、RS 68人、
合計 711人

1. 地区所属団 14個団 62ヶ隊
2. 地区役員構成 地区協議会長 1、副会長 2、地区委員長 1、副委員長 2、
スカウト委員長 1、指導者委員長 1、組織拡充委員長 1
野営行事委員長 1、健康安全委員長 1、ユース委員長 1
会計 1
地区コミッショナー 1、地区副コミッショナー 3
団担当コミッショナー 3（現在副地区コミが兼務）
3. 地区協議会 年3回（内1回地区総会を兼ねて開催） 出席率 60%
4. 地区委員会 年10回
役員出席率 90%
5. 指導者研修（定型訓練）の開催状況
県連盟主催 ウッドバッジ研修所 BVS 課程 年1コース
ウッドバッジ研修所 CS 課程 年1コース
ウッドバッジ研修所 BS 課程 年1コース
ウッドバッジ研修所 VS 課程 年1コース
団運営研修所 年1コース
地区主催 指導者講習会 毎年1回
指導者研修（定型外）の開催状況
県連盟主催 野営法研修会（年2回）
進歩研究会（各部門年1回）
団運営研究会（年1回）
技能研究会（年1回）
地区主催 各部門ラウンドテーブル（隊長、副長対象） 年9回
BVS 部門 出席率 80%
CS 部門 出席率 75%
BS 部門 出席率 80%
VS 部門 出席率 70%
団 RT 2回（団委員長、団委員）
合同 RT 1回（全部門隊指導者）
指導者1泊研修会 1回
団委員長懇談会 2回
定型外訓練 7回
デリバリー研修 随時

6. 県連盟主催行事

県合同野営 4年に1回開催

7. 近年の地区登録数の推移

	BVS	CS	BS	VS	RS	指導者	団委員	合計
前々年	99	157	142	76	70	186	145	815
前年	56	146	114	52	73	188	130	759
当年	56	130	100	44	68	190	123	711

8. 広報活動

地区としては特に広報活動を実施していないがホームページを開設し、各団のページを設けている。公民館8カ所程度でパネル展実施。

9. 地区及び各団の環境と概況

- (1) 県内の中堅的な地区であり、一市一地区で構成している。
- (2) 市内を北(4ヶ団)、中(5ヶ団)、南(5ヶ団)のブロックに分け、団担当コミッショナーの担当としている。また、年に1回ブロック毎で、合同体験入隊集会を開催している。
- (3) 地区キャンポリーを4年に1回開催。ここ2回は、ローバースカウトが主体になり企画・計画・運営を実施している。

(2) 第2団

市南部の商業地域にあり、2年前に近隣4個団が統合して新たに組織された団である。従って対象範囲は広く、集会の場所(主に公園)を月毎に移動するという負担がある。

統合してできた団のため団委員、指導者が多く、その整理を今年度で終える予定である。

今年度から3カ年計画を実施し、スカウト40%増、指導者の質の向上等を目指している。

(3) 第9団

市北部の商業地域にあり、地域の理解を獲得した財政的に豊かな団である。一昨年、BS隊指導者と一部保護者とのコミュニケーションが損なわれ、スカウト減少に拍車をかけてしまっている。団委員長をはじめ、団委員、隊指導者は懸命に回復を図っているが、いまだ効果が表れないのが現状である。

BVS隊は昨年度から消滅し、今年度も回復していない。従って今後のスカウト増加は難しい状況にある。しかし優秀な指導者を擁し、基本的な隊活動を目指そうという気概は失われていない。

現在、親団と統合するかどうかの岐路に揺れている。

(4) 第16団

当団は市北東の比較的農村の雰囲気を残した自然豊かな地域にある。

発団40年を超える団であり、地域の有力な寺院が育成会の主体となり、檀家の行事等を通して資金的支援があり、財政的には一応確立している。

かつては優秀な指導者が多かった団であるが世代交代が円滑に進まず、深刻な指導者不足に陥っている。昨年よりRS隊の登録が途切れ、若い指導者の養成も難しい模様である。

武庫川第2団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローバー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	16	21	44	81	5		4	6	10	8	10	18	8	9	17	3	6	9	1	13	14
前年	16	18	43	77	5		6	13	19	9	13	22	7	5	12	3	2	5	1	10	11
当年	12	19	46	77	5		5	7	12	9	20	29	4	6	10	2	2	4	1	11	12



武庫川第9団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローバー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	10	10	22	42	5		2	1	3	4	5	9	3	6	9	1	8	9	0	2	2
前年	9	8	16	33	4		0	0	0	3	3	6	2	5	7	2	7	9	1	1	2
当年	9	8	16	33	4				0	3	2	5	2	5	7	2	5	7	1	4	5



武庫川第16団登録一覧表

年度	団登録人数				隊	班	ビーバー			カブ			ボーイ			ベンチャー			ローバー		
	団委員	指導者	スカウト	合計			指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計	指導者	スカウト	小計
前々年	8	5	27	40	5		1	5	6	2	10	12	2	7	9	0	4	4	0	1	1
前年	7	5	24	36	4		2	4	6	1	8	9	2	9	11	0	3	3	0	0	0
当年	6	8	24	38	4		3	5	8	2	9	11	3	6	9		4	4			0



武庫川第2団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度も1個班編成であったため対班競争ができなかった。CS 隊スカウトが増加しているが、この傾向が続けば BS 隊が複数班体制になるのは3年後であると考えられる。
- ・野外活動が不十分であった。
- ・進級が予定通り進まなかった。
- ・出席率の向上も図れなかった。来年度は班集会の回数を減らそうと考えている。
- ・団の目標達成にあまり貢献できなかった。

武庫川第9団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度も1個班編成であったが、今後も隊員増加が見込めない。
- ・保護者とのコミュニケーションに問題を残したため協力が得られない場合があった。大きな反省材料である。
- ・野外活動は順分できたと評価している。
- ・集会の出席率は満足できる結果であった。
- ・対班競争ができないため近隣団と合同プログラムを大いに活用した。

武庫川第16団 前年度 BS 隊活動評価

- ・今年度前半は日本ジャンボリーに関わるプログラムが主な活動になってしまった。しかも参加予定者のみの活動であったため参加しないスカウトは不利益を被った。
- ・予定していた5回のグリーンバー訓練は実施できなかった。
- ・目標を達成するためのプログラムがそれに相応しいか疑問が残る内容があった。
- ・スカウトの興味による、バラエティーに富んだプログラムが不十分であった。
- ・県連盟が示した目標である長期野営が実施できなかった。
- ・今年度も1個班編成のため

グループ作業の進め方

◆手法：「イントレイ・エクササイズ」シミュレーション

解説「イントレイ・エクササイズ」

参加者にイン・トレイ（未決箱）またはバスケットの手紙、メッセージ、回覧物などが渡されます。これは、役務（例えば隊指導者など）と関連をもつ課題を参加者に提供することを入念に意図しています。そして、参加者がそれを分析し、どのように実行するか決定します。次に、この意思決定は分析し、評価されます。ねらいは、参加者に役務に関連する問題を解決する機会を与えることです。

（世界アダルトリソースハンドブック セクション800 より）

時間	作業内容	留意点等
09:10 (5)	【情報収集】 地区コミ（チューター）は、地区内の団・隊の情報収集について、団担当コミから資料が提出されたことを知らせる。	情報収集後の地区コミッショナー会議を演示してもよい
09:15	地区副コミ（参加者）に地区内の情報（イントレイ材料）を配付する。	
09:15 (30)	【現状把握】（個人作業） 地区副コミ（参加者）は、各自地区内の情報を読み込んで現状把握を行なう。 ＜個人作業指示＞ 地区副コミッショナーの立場で配付資料を読み、情報内容を整理し、団の現状を把握してください。	
09:45	現状を把握するうえで、大事と思う事実内容にはアンダーラインを引いてください。	
09:45 (30)	【問題点抽出 その1】（個人作業） 地区副コミ（参加者）として、現状把握で重要と考えた点について、分析し問題点を抽出する。 ＜個人作業指示＞ 地区内の各団の現状の中にある客観的事実を分析し、問題点を抽出してください。抽出した問題点を、その団固有の問題点なのか他の団とも共通する問題点が示し、ワークシート1に記入してください。	ワークシート1を使用する。
10:15		
10:15 10:30	休憩	
10:30 (30)	【問題点抽出 その2】（グループ作業） 地区副コミ（参加者）が集まって、各自が抽出した問題点を整理する。 ＜グループ作業＞ 個人で抽出した問題点を地区副コミ（グループ内参加者）と共有して整理し、模造紙に記入してください。	模造紙を使用する。
11:00	司会者・記録・発表者を決めてください。	
11:00 (20)	【問題点抽出 その3】（グループ発表） 地区副コミが整理した問題点を地区コミ（チューター）に報告する。当該地区コミ（チューター）は、問題点が適切に抽出されているか評価する。 ＜発表＞ 地区副コミは、地区の問題点を発表してください。それに対し、地区コミは適切かどうか評価してください。	参加者の新たな気付きや改善が図られるような評価を行う。
11:20		
11:20 (20)	全地区（グループ）が順次発表、評価を行う。	
11:40	＜発表＞ コース全体で成果を共有。1グループ3分程度の発表として下さい。	
11:40 12:30	昼食	
12:30 (50)	【原因追求 その1】（グループ作業） 地区内各団の問題点の原因を追究する。資料では不十分な点があるので、独自で適宜想定を行ってよい。 ＜グループ作業＞ 地区副コミ（参加者）として地区内各団の問題点を整理し、ワークシート2に書き込んでください。	ワークシート2を使用する。 模造紙を使用する。
13:20	その問題の原因と解決の糸口について、地区副コミで話し合いを行ってください。	

時間	作業内容	留意点等
13:20 (30)	<p>【原因追求 その2】(グループ発表)</p> <p>地区副コミが整理した原因と解決の糸口を地区コミ(チューター)に報告する。当該地区コミ(チューター)は、検討結果について適切であるか評価する。</p> <p>全地区(グループ)が順次発表、評価を行う。</p> <p><発表></p> <p>地区副コミは、地区の問題点の原因及び解決への糸口を発表してください。それについて、地区コミは適切かどうか評価してください。</p>	* 評価の際、修正ある場合は助言をして下さい
13:50	<p>全地区(グループ)が順次発表、評価を行う。</p> <p><発表></p> <p>コース全体で成果を共有。1グループ3分程度の発表として下さい。</p>	
14:10 14:20	休憩	
14:20 (35)	<p>【解決策策定 その1】(グループ作業)</p> <p>原因を解消するための解決策を策定する。</p> <p>地区が団・隊に直接支援する解決策(個別の団・隊への対応)と地区・県連の事業として全体的に取り組む解決策(地区内共通の対応)をそれぞれ1つ選択し、解決策のタイトル(〇〇に関するイベント(活動、研修、セミナー、会議等)の開催など)を設定する。また解決策(事業)の目的を設定する。</p> <p><グループ作業指示></p> <p>地区内各団の問題点を解決するための解決策をグループで話し合って策定して下さい。</p> <p>現状→問題点→原因の流れを再確認し「団・隊への支援策」「地区・県連としての事業」とするものをそれぞれ1つつ選択してください。選択したものについて、それぞれ解決策のタイトルと解決策(事業)の目的をワークシート3に記述してください。</p>	<p>1つの問題点はいくつかの原因が考えられることから、問題の解決策は、複数ある場合が多いことに留意する。</p> <p>ワークシート3を使用する。</p>
14:55	<p>【解決策策定 その2】(個人作業)</p> <p>「団・隊への支援策」「地区・県連としての事業」のそれぞれについて、事業実施の企画案をワークシート4を用いて作成する。</p> <p><個人作業指示></p> <p>解決策(事業)の企画案(ワークシート4)を作成してください。(各自2つの企画案作成*状況に応じ1つでも可)</p>	<p>ワークシート4を使用する。</p> <p>コミッショナーが主体となって実施する事業もあるが、他の関係者との協力が重要である点に留意する。</p> <p>チューターは解決策企画案作成時、参加者の進捗具合をみながら支援(助言)を積極的にお願いします</p>
16:05 16:05 16:15	休憩	
16:15 (60)	<p>【解決策策定 その3】(発表)</p> <p>副コミ(参加者)が、各自の事業企画案を発表する。グループの人数によっては、各自1つの企画案の発表でも良い。発表後、地区コミ(チューター)及び副コミ(参加者)による質疑応答と評価を行う。</p> <p><発表></p> <p>地区副コミ(参加者)は、事業企画案を発表してください。</p> <p>発表を聞いて、地区コミ(チューター)及び他の地区副コミ(参加者)は、目的、目標等が問題解決につながっているか、また事業内容が適切かどうか評価してください。また、全体発表を行うテーマを1つ選び、グループ内での評価を受け改善する点があれば改善して下さい。</p>	<p>事業企画案の目的、目標が、問題解決につながっているか検証、評価する。</p> <p>模造紙を使用する</p>
17:15		

グループ

氏名

	「団・隊への支援策」	「地区・県連としての事業」
現状		
問題点		
原因		
解決策(事業) のタイトル		
解決策(事業) の目的		

企 画 書	
企画書作成者	
タイトル	
目的	
目標	
事業主体	
実施スタッフ	
協同する組織等	
期 日	
場 所	
参加対象者	
参加人数	
事業内容	
事業予算	

武庫川第 2 団の情報

1. 武庫川第 2 団は一昨年、近隣 3 コ団が統合して再編された団である。

地区コミッショナーが、第 2 団の団委員から次のような話を聞いた。

「私の団で新しく団委員長になられた方は過去に各隊の隊長を務められた経験豊かな方です。副団委員長であった最近の 2 年間はビーバー隊の支援と改革に尽力され、ビーバースカウトは一昨年の年度末には 20 名、昨年の年度末は 19 名と、大幅に増加し、それに伴いカブスカウトは 20 名に増えました。今年度団委員長に就任されたのを契機に 3 カ年計画を打ち出し、スカウト数 5 割増と財政基盤の確立、指導者の資質の向上を目指そうとされています。この計画は、形の上では団委員会を中心に企画され、団会議の了承を得て実施されるのですが、団委員や隊長には団委員長の考えを確認したり、批判したりする力がなく、事実上、団委員長の意見が全て通っている状況です。また具体的な方策は隊指導者にかなり負担になると考えられます。団委員長がせっかく頑張っていらっしゃるのに、振り返れば誰もついてこなかったとならないか心配なのです。」

2. 地区コミッショナーの指示を受け、団担当コミッショナーが武庫川第 2 団の団会議を訪問した。

団会議での議題の一つは 3 カ年計画の立案企画の経緯や、計画の詳細が団委員長から説明があった。

また、現在のビーバー隊、カブ隊の状況を踏まえた、現況隊員数が少ないボーイ隊の複数班実現やベンチャー隊の見込等の説明があったが、過去のスカウト少数で苦しんだ経緯から抜け出せず、半信半疑で聞いていた。

3. 団担当コミッショナーの武庫川第 2 団団会議での評価

「日ごろの隊運営ご苦労様です。3 カ年計画を実施されていることには感心しております。ただあまり難しく考えずにもっと気楽に実行してください。相互理解に努めチームワークを発揮してお進みください。」

4. 団担当コミッショナーが、武庫川第 2 団の団会議を訪問したときの話を地区コミッショナーに報告。

- ・ 第 2 団は明確な目標を持って 3 カ年計画を立案しているが、現状把握、現状分析、問題点抽出等の手法が高度で難しく、団内全ての人が理解できているかは疑わしい。
- ・ 隊指導者の関心は低そうである。
- ・ 団会議では、団委員長が一人で発言し、他の人は聞くだけで質問も出ない。
- ・ 担当コミッショナーとして、地区では珍しい 3 カ年計画実行の推移を見守りたい。

5. 会議

団委員会：毎月 1 回定例（団会議 2～4 日後）、団会議：毎月 1 回定例

武庫川第2団 指導者台帳(当年4月1日現在)

役務	担当	氏名	年齢	在任年数	団外役職等			研修歴						
					地区	県連	その他	隊指導者	団運営	他定型1	他定型2	定型外1	定型外2	
団委員長	全般	小林弘	65	1			CS実	団研						
副団委員長	庶務	佐藤忠司	70	3	事務長		BS研	団研						
副団委員長	プログラム	吉田正夫	55	3	スカウト委員長		BS実・VS実	団研						
団委員長	育成会代表									講習会				
団委員長	総務	大田和子	53	3	総務委員		CS研							
団委員長	指導者	海野清	58	3	指導者委員									
団委員長	進歩	糸井元雄	61	3										
団委員長	健安	生沢雅子	47	3						講習会				
団委員長	財政	村山源治	70	3	財政委員									
団委員長	無任	藤山一郎	68	3			BS研							
団委員長	無任	大坂健二	58	3			CS研				コミ実	LTC		
団委員長	無任	坂崎保志	72	3			BS実							
団委員長	無任						BS実							
RS隊長	全般	増田憲一	43	3								ハイク研	キャンプ研	
VS隊長(兼任)	全般	吉田正夫	55	3	スカウト委員長		BS実・VS実	団研						
VS副長	フロ	山本正美	48	3			BS研						ハイク研	
BS隊長	全般	本田正隆	56	3			BS実							
BS副長	管理	山下康治	38	3			BS研			講習会				
BS副長	プログラム	勝井博義	25	3										
CS隊長	全般	川上正敏	32	3			CS研			講習会				
CS副長	プログラム	松下恵美	48	3						講習会				
CS副長	プログラム	丹沢真志	23	3						講習会				
CS副長	庶務	丸山啓太	31	3						講習会				
DL	1組	市山正子	39	3						講習会				
DL	2組	岩田慶子	37	1						講習会				
DL	3組	市川晴子	40	1										
BV隊長	全般	右田孝子	60	3			BVS実・CS研				コミ実			
BV副長	プログラム	本田由美	50	3			BVS研					ALTC		
BV副長	プログラム	橋口昭	52	3			CS実・BVS研							
BV副長	庶務	黒木義孝	51	3						講習会				
BVS補助者		片山芳子	34	1						講習会				
BVS補助者		樽谷元子	38	1						講習会				

当年度継続登録時

団審査チェック表 No.1

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第2団
記入者氏名 小林弘

■スカウト・指導者数

	スカウト		班・組数	隊指導者数		団委員数		その他	
	男子	女子		男子	女子	男子	女子	男子	女子
団委員会						10	2		
BVS	5	4		2	4			補助者	2
CS	13	7	3組	3	1			デューター	3
BS	3	2	1班	5	1				
VS	1	1		1	2				
RS	8	3		1					

■隊の活動

	隊集会	組・班集会	3泊以上野営・2泊以上舎営		保護者会	ハイク	キャンプ
BVS	3回/月		月泊	月泊	4回/年		
CS	2回/月	2回/月	月泊	月泊	1回/年	3回/年	2回/年
BS	1回/月	2回/月	月泊	月泊	1回/年	6回/年	6回/年
VS	2回/月	主要活動	六甲全山縦走・野外料理大会		回/年	2回/年	6回/年

■団会議・団委員会

	開催について	出席率	前年開催数
団会議	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 7月ごと	約 65%	12回
団委員会	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 7月ごと	約 50%	12回

※設置している団委員（該当に○）

○ 進歩 ・ ○ 指導者養成 ・ ○ 健康安全 ・ ○ 財政 ・ 組織拡張 ・ 野営行事
その他（体験入隊を含め団行事については実行委員会を設置）

■団としての活動

団集会	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容 体験入隊3回/年・スカウト祭1回/年 スカウトの日1回/年・餅つき大会 入隊上進式 BP祭 10回/年	具体的内容 市民祭り・地域ふれあいまつり 夜回り・老人ホーム慰問 回/年	総予算 200,000 その他

当年度継続登録時

団審査チェック表 No.2

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第2団
 記入者氏名 小林弘

■団委員会構成メンバーの年齢と継続年数

団委員長		副団委員長		副団委員長		副団委員長		団委員（人数）	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	男	女
65	1	70	6	56	2			7	2
性別		性別		性別		性別			
男	女	男	女	男	女	男	女		
1		1		1					

■各隊長の年齢と継続年数

ビーバー隊		カブ隊		ボーイ隊		ベンチャー隊		ローバー隊	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
65	8	32	6	56	2	55	10	43	2
性別		性別		性別		性別		性別	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	1		1		1		1	

■団委員会構成員の研修歴

	講習会	団委員長 特修所	団運営 研修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
団委員長		1		2	1	
副団委員長			2	1	1	
団委員	2			3	1	3

■各隊指導者の研修歴

	講習会	当該 研修所	当該 実修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
BVS隊長			1			
CS隊長		1				
BS隊長			1			
VS隊長			1			
RS隊長					1	
BVS副長	1	2				
CS副長	3			1		
BS副長	1	1				
VS副長				1		
RS副長						
BVS・他指導者	2					
CS・他指導者	3					
BS・他指導者						
VS・他指導者						
RS・他指導者						

当年度継続登録時

団審査チェック表 No.3

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第2団
 記入者氏名 小林弘

■カブスカウトの状況

◆完修章の修得状況

	修得者	未習得者
うさぎ	8	
しか	3	
くま	3	

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	2	1
上進したスカウト人数	1	1

◆集会の回数と出席率

	野外		屋内	
	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	8	90	2	90
組集会	22	85	2	85
組長集会				

◆上進章集会の状況

野外	活動回数		活動期間 何ヶ月
	野外	室内	
1	1	6	

■ボーイスカウトの状況

◆進級状況

	ボーイスカウト	初級	2級	1級	菊
小5					
小6		1			
中1		1	1		
中2			1		
中3		1			

◆中学3年の最終進級人数

ボーイスカウト	
初級	1
2級	
1級	
菊	

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	0	1
上進したスカウト人数	0	0

◆上級班長、隊付の人数

上級班長		隊付	
BS	VS	BS	VS
	1		

◆集会の回数と出席率

	野外集会		屋内		キャンプ		ハイキング	
	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	16	50			6	50	6	50
班集会			23	60				
班長会議								
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

	1泊	2泊	3~4泊	5~6泊	7泊以上	移動キャンプ
隊キャンプ	3	3				
班キャンプ						

◆年間の進級章の取得数

ターゲットバッジ	6
マスターバッジ	3
対象効外数	5

◆リーダー会議の状況

	BVS	CS	BS	VS	RS
リーダー会議	12	10	4	6	
その他会議	6	4	2	6	

当年度継続登録時 団審査チェック表評価表

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、団担当コミッショナーの団、隊の評価

団名 武庫川第2団
 地区コミッショナー _____
 団担当コミッショナー _____

◆評価できるところ

団	団委員会、団会議が定期的で開催されている。年間計画が確立されている。 地域活動に団として積極的に参加している。 WB実修所終了している指導者が多数在籍している。 多数のビーバースカウトの新規獲得
カブ隊	複数組が編成されている。組集会在実施されている、 組集会、隊集会の出席率がよい90~95%
ボーイ隊	地域活動に積極的に参加している。 仲間意識が強く、年下のスカウトの面倒見がよい。

◆問題と思われるところ

団	諸活動への指導者参加が確定せずに不安定である。 BS、VS年代のスカウト数が少ない。 指導者の研修意欲が乏しい。特に定型外訓練。
カブ隊	チャレンジ章取得数が少ない、意識が低い。 集会に参加できる指導者が不安定である。
ボーイ隊	中学3年で初級のままでの退団者がいる。 ターゲットバッジの取得数が少なく、進級意欲が低い。 集会出席率が40~50%と低い。

◆指導すべき課題

団	団委員会の集積率が低いので、改善するように指導。 次期若い世代指導者の発掘を進めるように助言。
カブ隊	カブ指導者の資質向上のため、WB終了の呼びかけ。
ボーイ隊	集会への出席率上げるように指導。 パトローリングの確立。

武庫川第9団の情報

1. 武庫川第9団は地域の理解と支援を得て財政を確立している豊かな団である。指導者の研修費、登録費は団が負担し、スカウトの制服は全て貸与している。

しかしながら、2年前からBVS隊が消滅しているし、他の隊も人数的に振るわない。この団も他の多くの団と同じようにスカウト減少に悩まされてきたのであるが、その中でも比較的減少の幅が少なく、健闘してきた実績がある。今日の状況に至った大きな原因のひとつは、ある隊指導者の保護者とのコミュニケーションの失敗があげられる。このできごとにより数人のスカウトを一時に失い、併せて保護者の信頼をも失ってしまった。

2. コミッショナーの支援を仰ぐまでもなく、団委員長をはじめ、団では保護者の信頼の回復を目指し、様々な対策を講じてきたがその効果ははかばかしくなく現況のスカウト数に甘んじている。

3. 保護者会

一昨年の保護者会では基本的なスカウト活動を実施するために近隣2個団とCS隊およびBS隊の合同のプログラムの実施を打ち出した承された。しかし2年間合同プログラムを展開したがスカウト増の結果が得られなかった。

昨年の保護者会では2年間の結果について報告した。併せて、今年度については親団との連携を計画した承されたが、現在まで良い結果を得られていない。

4. 今後の方向性

- ・ 地域に認められ、財政的に豊かな団であるので、何とかスカウトを増やし団の存続を図りたい。
- ・ 親団に吸収合併される。

以上ふたつの案の狭間で揺れている。

5. 会議

団委員会：毎月1回定例、団会議：毎月1回定例

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第9団

記入者氏名 島崎洋司

■スカウト・指導者数

	スカウト		班・組数	隊指導者数		団委員数		その他	
	男子	女子		男子	女子	男子	女子	男子	女子
団委員会						6	3		
BVS					0			補助者	
CS	1	1	1	2	1			デッパダー	0
BS	3	2	1	3	1			隊付	3
VS	3	2		1	1				
RS	4			1	0				

■隊の活動

	隊集会	組・班集会	3泊以上野営・2泊以上舎営		保護者会	ハイク	キャンプ
BVS			月泊	月泊	宿泊はしない		
CS	2		月泊	月泊	8月 2泊 月泊	2回/年	4回/年 1回/年
BS	3	1	5月 2泊 月泊	8月 1泊 3月 1泊	5回/年	4回/年	4回/年
VS	1	主要活動 団行事・BS隊への支援活動			2回/年	1回/年	1回/年

■団会議・団委員会

	開催について	出席率	前年開催数
団会議	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 1ヶ月ごと	約 85 %	12回
団委員会	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 1ヶ月ごと	約 65 %	12回

※設置している団委員（該当に○）

○ 進歩 ・ ○ 指導者養成 ・ ○ 健康安全 ・ ○ 財政 ・ ○ 組織拡張 ・ ○ 野営行事
その他（ 広報・会計・総務・国際 ）

■団としての活動

団集会	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容 ・入隊・上進式・体験入隊・バザー ・BP祭・餅つき・全山縦走・夜警 13回/年	具体的内容 ・奉仕（清掃・募金・障害者施設） ・県民交流活動・新能松明・GS共催活動 21回/年	総予算 1039756円 その他

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第9団

記入者氏名 島崎洋司

■団委員会構成メンバーの年齢と継続年数

団委員長		副団委員長		副団委員長		副団委員長		団委員（人数）	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	男	女
68	6	72	6	59	5			6	5
性別		性別		性別		性別			
男	女	男	女	男	女	男	女		
1		1		1					

■各隊長の年齢と継続年数

ビーバー隊		カブ隊		ボーイ隊		ベンチャー隊		ローバー隊	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
60	12	48	2	33	4	63	13	72	4
性別		性別		性別		性別		性別	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
	1	1		1		1		1	

■団委員会構成員の研修歴

	講習会	団委員長 特修所	団運営 研修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
団委員長			1			
副団委員長	1		1			
団委員	6		1	1		

■各隊指導者の研修歴

	講習会	当該 研修所	当該 実修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
BVS隊長						1
CS隊長				1		
BS隊長		1		1		
VS隊長				1	1	
RS隊長				1		
BVS副長						3
CS副長	2	1				
BS副長	2					
VS副長				1		
RS副長						
BVS・他指導者						
CS・他指導者						
BS・他指導者						
VS・他指導者						
RS・他指導者						

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川第9団

記入者氏名 島崎洋司

■カブスカウトの状況

◆完修章の修得状況

	修得者	未習得者
うさぎ		
しか		2
くま		

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	0	1
上進したスカウト人数	0	1

◆集会の回数と出席率

	野外		屋内	
	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	18	80%	6	80%
組集会			3	80%
組長集会				

◆上進章集会の状況

	活動回数		活動期間 何ヶ月
	野外	室内	

■ボーイスカウトの状況

◆進級状況

	ボーイカウト	初級	2級	1級	菊
小5	1				
小6			2		
中1			2		
中2					
中3					1

◆中学3年の最終進級人数

ボーイカウト	
初級	
2級	
1級	
菊	1

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	1	
上進したスカウト人数	1	

◆上級班長、隊付の人数

上級班長		隊付	
BS	VS	BS	VS
1	0		3

◆集会の回数と出席率

	野外集会		屋内		キャンプ		ハイキング	
	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	20	80%	5	95%	4	90%	4	85%
班集会								
班長会議			2	80%				
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

	1泊	2泊	3~4泊	5~6泊	7泊以上	移動キャンプ
隊キャンプ	1	2				
班キャンプ	1					

◆年間の進級章の取得数

ターゲットバッジ	20
マスターバッジ	9
対象カウト数	6

◆リーダー会議の状況

	BVS	CS	BS	VS	RS
リーダー会議		10	12	2	0
その他会議		10	3	6	0

当年度継続登録時 団審査チェック表評価表

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、団担当コミッショナーの団、隊の評価

団名 武庫川第9団

地区コミッショナー

団担当コミッショナー

◆評価できるところ

団	・地域に密着した活動。近隣団との連携で合同活動を実施している。体験活動を実施している。
カブ隊	・定期的な隊集会。近隣団との合同活動を実施している。野外活動が多い。
ボーイ隊	・野外活動が活発。指導者が、充実している。(上班・隊付)

◆問題と思われるところ

団	・スカウト数が少ない。ビーバー隊がない。合同活動の成果が見られない。問題解決検討必要。
カブ隊	・クリアー章の取得が出来ていない。スカウト数少ない。隊長がWB終了していない。
ボーイ隊	・スカウト数が少ない。班制度を実施出来にくい。4泊以上のキャンプがない。

◆指導すべき課題

団	・合同活動を具体的に推進し、早急のスカウト増の方策をたてる。ビーバー隊の復活を目標に。
カブ隊	・スカウト増の活動再評価を団全体ですすめる。合同活動の実施の継続。
ボーイ隊	・団の支援をうけながら、長期野営の実施。合同活動の具体的なプログラム実施方法。

BS 隊 当年度 年間プログラム (当年4月1日～翌年3月31日)
 目 標 「個人のスキルアップと班活動の充実」
 テーマー 「様々な交流」

月	日	曜日	主 な 活 動	スカウト関係年間行事	
				団内	地区・県連・日連
4	3 10 16-17 23-24 29	日 日 土・日 土・日 祝	入隊式 地区60周年オープニングセレモニー 班キャンプ (社家郷山キャンプ場) GB訓練キャンプ(知名湖) サイクリング準備集会 班集会 (班キャンプ報告書作成)	3 (日) 入隊式 29 (祝) 団育成総会	
5	8 15 22 29	日 祝 日 日	サイクリング (神戸南京街) 技能賞講習会 (文化財保護章) サイクリング予備日 体験入隊		海外派遣準備集会
6	12 19 26	日 日 日	風と遊ぼう 梶田公園 隊集会 (進級プログラム) 工作		海外派遣準備集会
7	3 17-18 24	日 日・祝 日	ユニセフ募金 地区キャン訓練キャンプ 富松神社薪技能		海外派遣準備集会
8	3-7 末	水・日	地区キャンプ お別れキャンプ		地区キャンプ 海外派遣 (台湾)
9	19 25-26	日 土・日	立花まつり (園田学園女子大学) 新入隊員歓迎キャンプ		12 (日)デンリーダ講習会 19 (日)立花祭り 26 (日)指導者講習会
10	2 (23) 24 31	土 土 日 日	縦走 夜間訓練ハイキング (縦走 夜間訓練ハイキング予備日) 縦走 昼間訓練ハイキング 福成園奉仕	10(土)～11(日)富松神社秋祭 25 (日) 福成園奉仕	16-17(土・日) CS 隊 都市交歓 滋賀県 24 (日)市民まつり
11	7 (14) 21 28	日 日 日 日	(縦走 昼間訓練ハイキング予備日) 若しくは隊集会 (隊集会 予備日) 六甲山全山縦走 14 団発団 60 周年記念式典参加		
12	5 19 23 28-30	日 日 祝 火・木	ユニセフ募金 クリスマス会 (13.15 合同) もちつき 富松神社 年末夜警奉仕		
1	5 23 29	水 日 土	班集会 (ボーリング 塚口ロビンボール) スケート(尼崎スポーツの森) GB集会(耐寒ハイキングについて)		
2	13 19-20		耐寒ハイキング(六甲山) スキー遠征(13.21.合同 ハチ高原)		
3	19-20 21 27 30	土・日 祝 日 水	春キャンプ (13.15 合同 甲山) 団バザー 班キャンプ企画書作成 班集会 (班キャンプ企画書作成)	団バザー明和幼稚園	

武庫川第 16 団の情報

1. 団の概要

武庫川第 16 団は地区南部の比較的農村の雰囲気を残した自然豊かな地域である。地域の有力な寺院が育成会の主体となり、檀家の行事等を通して資金的支援があり、財政的には一応確立している。

また、発団 40 年を超える歴史があり、過去には地区委員会にも多くの指導者を送りこんだ有力な団であった。

2. 団の状況

2 年前から RS 隊が消滅している。他の隊もスカウトが人数的に振るわない。

最も深刻なのは指導者が不足していることである。若い指導者が育たず、効果的な世代交代が果たせなかった。

現状、団委員長が VS 隊長や BS 副長を兼務しなければならないほど苦しい隊の経営である。

3. 団の努力

団委員長の指導のもと、スカウト募集のプログラムや地域イベントへの参加等、現状打開に努力しているが効果が上がっていない。

団委員長や指導者は、団の立て直しを懸命に訴えているが、効果的な施策を打ち出せずにいる。

このような状況の中、各隊は近隣団と合同プログラムを実施するなど、それぞれ隊運営を実施している。

4. コミッショナーの支援

過去数回にわたって団担当コミッショナーが団訪問を実施している。

団の現状把握や分析、問題点抽出はできるのであるが、原因追求や解決策立案まで議論がかみ合わず暗礁に乗り上げ、効果的な支援ができないままになっている。

5. 今後の方向性

地域に認められ、一応財政確立ができた団であるので、何とかスカウトを増やし団の存続を図りたいと願っている。

6. 会議

団会議：毎月 1 回、 団委員会：不定期（昨年度実施期：2 回）

当年度継続登録時

団審査チェック表 No.1

ボーイスカウト兵庫連盟

武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団

記入者氏名 前川 慶介

■スカウト・指導者数

	スカウト		班・組数	隊指導者数		団委員数		その他	
	男子	女子		男子	女子	男子	女子	男子	女子
団委員会						6	3		
BVS		6		2	0			補助者	1
CS	3	5	1	1				デニ-ダー	0
BS	6	3	1	3					
VS	3	0		1	0				
RS					0				

■隊の活動

	隊集会	組・班集会	3泊以上野営・2泊以上舎営		保護者会	ハイク	キャンプ
BVS	2		月泊	泊 (宿泊はしない)	2回/年		
CS	1	1	月泊	泊 8月1泊	3回/年	0回/年	1回/年
BS	2		7月2泊	泊 8月1泊	1回/年	5回/年	3回/年
VS	1	主要活動 富士山登山			0回/年	4回/年	3回/年

■団会議・団委員会

	開催について	出席率	前年開催数
団会議	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 1ヶ月ごと	約 90 %	12回
団委員会	定期・不定期 単独開催・同時開催・内容による 定期開催は 7ヶ月ごと	約 30 %	2回

※設置している団委員（該当に○）

○ 進歩 ・ 指導者養成 ・ ○ 健康安全 ・ 財政 ・ ○ 組織拡張 ・ ○ 野営行事
その他（ 広報・会計 ）

■団としての活動

団集会	地域活動への参加	団の年間予算
具体的内容 ・ 上進式・体験入隊・赤い羽根募金 ・ BP祭・歳末助け合い募金 6回/年	具体的内容 ・ 夏まつり ・ 尼崎市10万人クリーン作戦 5回/年	総予算 277590円 その他

当年度継続登録時

団審査チェック表 No.2

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団

記入者氏名 前川 慶介

■団委員会構成メンバーの年齢と継続年数

団委員長		副団委員長		副団委員長		副団委員長		団委員（人数）	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	男	女
51	6	49	3					7	1
性別		性別		性別		性別			
男	女	男	女	男	女	男	女		
1			1						

■各隊長の年齢と継続年数

ビーバー隊		カブ隊		ボーイ隊		ベンチャー隊		ローバー隊	
年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数	年齢	継続年数
46	3	46	10	50	7	51	6		
性別		性別		性別		性別		性別	
男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
1		1		1		1			

■団委員会構成員の研修歴

	講習会	団委員長 特修所	団運営 研修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
団委員長			1	1		
副団委員長				1		
団委員	4		1	2	1	

■各隊指導者の研修歴

	講習会	当該 研修所	当該 実修所	他WB 研修所	他WB 実修所	研修歴 なし
BVS隊長		1				1
CS隊長		1	1	1		
BS隊長				2	1	
VS隊長		1		2		
RS隊長						
BVS副隊長						1
CS副隊長	1					
BS副隊長	1	1				1
VS副隊長						
RS副隊長						
BVS・他指導者						
CS・他指導者						
BS・他指導者						
VS・他指導者						
RS・他指導者						

※各項目にご記入の上、団担当コミッショナーとの面談（登録審査時）の際に提出してください

団名 武庫川 第16団

記入者氏名 前川 慶介

■カブスカウトの状況

◆完修章の修得状況

	修得者	未習得者
うさぎ		3
しか		5
くま		

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	0	0
上進したスカウト人数	0	0

◆集会の回数と出席率

	野外		屋内	
	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	16	80%		
組集会	11	80%		
組長集会	0			

◆上進章集会の状況

活動回数		活動期間
野外	室内	何ヶ月

■ボーイスカウトの状況

◆進級状況

	ボーイカウト	初級	2級	1級	菊
小5					
小6		5			
中1					
中2		2			
中3			2		

◆中学3年の最終進級人数

ボーイカウト	
初級	
2級	2
1級	
菊	

◆上進対象スカウトの状況

	人数	
	男子	女子
上進対象スカウト人数	1	1
上進したスカウト人数	1	1

◆上級班長、隊付の人数

上級班長		隊付	
BS	VS	BS	VS
0	0	0	0

◆集会の回数と出席率

	野外集会		屋内		キャンプ		ハイキング	
	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率	回数	出席率
隊集会	20	70%	4	70%	3	80%	5	75%
班集会								
班長会議								
班長訓練								

◆年間キャンプの回数

	1泊	2泊	3~4泊	5~6泊	7泊以上	移動キャンプ
隊キャンプ	3					
班キャンプ						

◆年間の進級章の取得数

ターゲットバッジ	4
マスターバッジ	1
対象カウト数	3

◆リーダー会議の状況

	BVS	CS	BS	VS	RS
リーダー会議	0			0	0
その他会議	0			0	0

当年度継続登録時 団審査チェック表評価表

ボーイスカウト兵庫連盟 武庫川地区

※ご記入いただきました内容からの、地区コミッショナー、団担当コミッショナーの団、隊の評価

団名 武庫川 第16団

地区コミッショナー

団担当コミッショナー

◆評価できるところ

団	・地域に密着した活動。近隣団との連携で合同活動を実施している。育成会員の活用がある
カブ隊	・隊集会・組集会の実施。近隣団との合同活動を推進している。野外活動が多い。
ボーイ隊	・野外活動が活発。指導者が、充実している。

◆問題と思われるところ

団	・スカウト数が少ない。女子指導者の活用。進歩・進級の理解。
カブ隊	・クリアー章の取得が出来ていない。女子指導者がいない。上進章集会の開催がない。
ボーイ隊	・班集会・班長会議・班長訓練が実施されていない。上班・隊付がない。

◆指導すべき課題

団	・指導者の研修への意識づけ。女子指導者の育成・発掘。ボーイ活動の基本知識の理解
カブ隊	・カブブック活用の必要性。リーダーの配置、発掘。
ボーイ隊	・班制度の理解と実施。近隣団との合同活動の具体的な推進。

当年度 ボーイ隊年間計画(当年4月～翌年3月) 武庫川第16団

月	テーマ	目標	日程	活動
4	光の路	班員として自分の役割に自覚を持ち、進級課目に自ら挑戦する意欲を持つ	4 11 25 29	上進式(団行事) 第59回地区活動推進大会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ) 第60回兵庫連盟活動振興大会
5	パトローリング	・スカウトは誠実である ・スカウトは友情にあつい ・スカウトは礼儀たさい	2-4 9 16 22-23	第1回キャンプ グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会-芦屋浜カヤック 第15回日本ジャンボリー事前キャンプ(参加者のみ)
6	野山の行脚	初級章…6月に取得 2級章、1級章 …6月までに取得	6 20 27	班集会 班集会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ)
7	谷間のキャンプ	スカウト技能を体得し、スカウティングに自信を持つ	10 11 17 17-18 25 25	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 ボンファイヤー(団行事) 第15回日本ジャンボリー事前キャンプ(参加者のみ) 班集会 第15回日本ジャンボリー事前集会(参加者のみ)
8	10種野営料理法	・スカウトは快活である ・スカウトは質素である	1-9	第15回日本ジャンボリー(参加者のみ) 班集会 第2回キャンプ
9	火を絶やすな		5 12 26	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 班集会
10	懐かしの森へ	より深くスカウティングの知識を得て、得意分野、興味あるものについて自ら視野を広げる	3 10 24	募金活動 班集会-六甲縦走訓練ハイク1 班集会-六甲縦走訓練ハイク2
11	あるけ	・スカウトは勇敢である ・スカウトは親切である	7 14 21	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会-六甲縦走訓練ハイク3 六甲山全山縦走
12	平和の騎士	2級章、1級章、菊章 …12月までに取得	4 19 26	募金活動 もちつき(団行事) 班集会
1	Holdria Kuck	スカウト精神を理解して、スカウト技能の進歩、自分の成長を確認する	3 16 30	旗揚げ式(団行事) 班集会 班集会
2	世界の総長	・スカウトは感謝の心をもつ	6 20	グリーンバー訓練(班長、次長のみ) 班集会 BP祭(団行事)
3	この道を行く		6 19-21	班集会 第3回キャンプ 菊・富士スカウト市長顕彰